

厚木市民意識調査報告書

平成24年1月

厚木市

は じ め に

厚木市では、平成21年4月にスタートした第9次厚木市総合計画「あつぎ元気プラン」において、将来都市像「元気あふれる創造性豊かな協働・交流都市あつぎ」を掲げ、参加と協働によるまちづくりを推進しています。

総合計画を着実に推進する取組のひとつとして、市民の皆様と一緒に安心安全な地域社会を実現するため、平成22年11月にWHO（世界保健機関）によるセーフコミュニティの国際認証を国内3番目の自治体として取得することができました。さらに同年12月には、市民自治の推進を目的とした厚木市自治基本条例を制定いたしました。こうした活動を通して、市民の皆様の視点を大切にした厚木市らしいまちづくりを進めているところです。

今回、市民の皆様に御協力いただきました市民意識調査は、アンケートを通じた市政への市民参加であり、自治基本条例の理念を実現するための第一歩であり、明日のまちづくりにつながる貴重な資料となるものです。

本報告書にまとめました調査結果は、平成24年からスタートする総合計画第2期実施計画を始め日々の事務事業の中に取り入れ、市民の皆様のお考えや御要望を反映した市政運営のために活用してまいります。

今回の調査に当たりまして、御協力いただきました多くの皆様に心からお礼を申し上げますとともに、今後も市政に対して、積極的に御協力をいただきますよう心からお願い申し上げます。

平成24年1月

厚木市長 小林 常良

目 次

I	調査の概要	
1	調査の目的	1
2	調査項目	1
3	調査設計	1
4	回収結果	1
5	報告書の見方	2
6	標本誤差	2
II	回答者の属性	
1	回答者の属性	3
	(1) 性別(ア)	3
	(2) 年齢(イ)	3
	(3) 家族構成(ウ)	3
	(4) 住居形態(エ)	4
	(5) 居住地区(オ)	4
	(6) 居住年数(カ)	5
	(7) 利用駅(キ)	5
	(8) 自宅から最寄り駅までの交通手段(ク)	5
	(9) 職業(ケ)	6
	(10) 通勤(通学)先(コ)	6
III	意識調査結果	
1	暮らしの状況	7
	(1) 定住意向	7
	(2) 住み続けたい理由	10
	(3) 市外に転居したい理由	13
2	市の現状と将来	15
	(1) 市の現在のイメージ	15
	(2) 市の将来のイメージ	17
3	産業・商業	19
	(1) 買い物をする場所	19
	(2) 産業の活性化	21
	(3) 観光地活性化のための取組	22
	(4) 農業・林業振興のための取組	24

4	福祉・人権	26
	(1) 介護保険料の金額設定	26
	(2) 高齢時の居住形態	28
	(3) 人権侵害を受けた経験	30
	(4) 人権侵害を受けた時の対応	33
	(5) 人権や差別に対する関心	36
5	男女共同参画社会の推進	38
	(1) 子どもを産み育てられる環境	38
6	スポーツ	41
	(1) スポーツをする頻度	41
	(2) 取り組んでいるスポーツの種目	43
	(3) 参加してみたいスポーツイベント	45
7	国際交流	47
	(1) 国際交流の取組	47
8	環境	50
	(1) ごみの減量化・資源化の推進	50
	(2) 資源とごみの分別	52
	(3) 地球温暖化防止のための取組	54
	(4) 環境問題啓発事業への参加	56
	(5) 実践してほしい新エネルギー施策	58
9	交通・安全・防災	60
	(1) 本厚木駅周辺の治安	60
	(2) 防犯対策に望むもの	62
	(3) セーフコミュニティの考え方	64
	(4) 住宅用火災警報器の設置	66
	(5) 行政に希望する災害対策	68
10	教育・生涯学習・文化	70
	(1) 子どもの教育のために最も大切なこと	70
	(2) 生涯学習活動に参加する上で支障になること	72
	(3) 優先すべき芸術文化施策	74
11	市民生活	77
	(1) 市の施設の利用状況	77
	(2) 日ごろの交通手段	79
	(3) 整備が必要な施設	82
	(4) 市の施設の利用の有料化について	84
	(5) 高齢時の交通手段	86
	(6) 窓口開庁日時について	89

目 次

12	保健・健康	91
	(1) 市立病院のイメージ	91
	(2) 身近な医療機関	93
	(3) 医療機関の役割分担	95
	(4) がん検診の受診状況	97
	(5) 自殺への対策	99
13	広報・広聴	101
	(1) 「広報あつぎ」の配布	101
	(2) ケーブルテレビ「あつぎ元気 Wave」の視聴頻度	103
	(3) 屋外大型映像装置（あつぎビジョン）の視聴頻度	105
	(4) 市の情報の入手方法	107
	(5) 行政サービスの情報化・ICT化	110
	(6) 家庭で保有する情報機器	113
	(7) 「マイタウンクラブ」の認知度	115
14	まちづくり	117
	(1) 本厚木駅周辺のイメージ	117
	(2) まちづくり全般の変化	119
	(3) 60歳以降の生活様式の希望	137
	(4) まちづくりへの参加	139
	(5) 本厚木駅周辺の活性化の必要性	142
	(6) 本厚木駅周辺の買物で不満を感じる事	144
	(7) 本厚木駅周辺にあればよいと思う施設	146
	(8) 本厚木駅周辺で買物をするときの交通手段	149
	(9) 本厚木駅周辺で主に利用する駐車場	151
	(10) 市の将来の土地利用	153
	(11) 厚木市内の道路の現状	155
	(12) 交通渋滞の緩和状況	158
	(13) 道路整備に望むもの	160
	(14) 河川環境の整備状況	163
15	行政	165
	(1) 市の財政状況	165
	(2) 市民の声を行政に反映させる仕組み	167
	(3) 行政情報の公開状況	169
IV	調査票と集計結果	
1	調査票（A）	171
2	調査票（B）	182

I. 調査の概要

1 調査の目的

市民のまちづくりに対する考えや市民生活に関係の深い事項について、市民意識調査を実施し、あつぎ元気プラン第2期実施計画策定及び今後の市政運営等の資料とする。

2 調査項目

- (1) 暮らしの状況
- (2) 市の現状と将来
- (3) 産業・商業
- (4) 福祉・人権
- (5) 男女共同参画社会の推進
- (6) スポーツ
- (7) 国際交流
- (8) 環境
- (9) 交通・安全・防災
- (10) 教育・生涯学習・文化
- (11) 市民生活
- (12) 保健・健康
- (13) 広報・広聴
- (14) まちづくり
- (15) 行政

3 調査設計

- | | |
|------------|----------------------------|
| (1) 調査地域 | 厚木市全域 |
| (2) 調査対象 | 厚木市在住の18歳以上の男女 |
| (3) 調査対象者数 | 調査票A：1,500人
調査票B：1,500人 |
| (4) 抽出方法 | 無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 郵送配布・郵送回収法 |
| (6) 調査期間 | 平成23年6月1日～15日 |

4 回収結果

- | | |
|-----------|--------------------------|
| (1) 有効回収数 | 調査票A：815人
調査票B：814人 |
| (2) 回収率 | 調査票A：54.3%
調査票B：54.3% |

5 報告書の見方

- (1) 図表中の「n」(Number of Cases の略) は、各設問の回答者数のことである。
- (2) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が 100.0% ちょうどにならない場合がある。
- (3) 回答の比率(%) は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100.0% を超えることがある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 設問によっては、平成 21 年度、19 年度、17 年度に実施した「厚木市民意識調査」の結果と比較している。
- (6) 回答者数が 30 に満たないものについては、図表に示すに留め、この報告書の中では特に取りあげていない場合がある。

6 標本誤差

今回の調査は、調査対象となる母集団(厚木市全域に住む満 18 歳以上の男女) から一部を抽出した標本(サンプル) の比率等から母集団の比率等を推測する、いわゆる「標本調査」を行っている。したがって、母集団に対する標本誤差が生じることがある。

標本誤差は次式で統計学的に得られ、①比率算出の基数(n)、②回答の比率(P) によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(100-p)}{n}}$$

(注) $\frac{N-n}{N-1} \div 1$

{

N=母集団数
(厚木市の満 18 歳以上人口)

n=比率算出の基数(回答者数)

p=回答の比率(%)

ある設問の回答者数が 1,629 人で、その設問中のある選択肢の回答比率が 50% のとき、その標本誤差は、±2.42% と考えてよい(つまり、回答比率は 47.58% ~ 52.42% の間にある)。

今回の調査結果の標本誤差は次表のようになる。

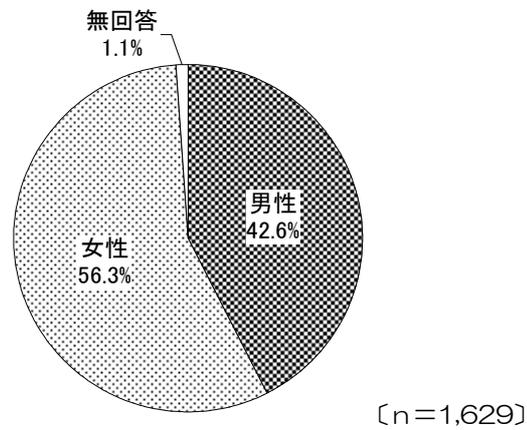
n (基数) \ p	回 答 比 率				
	90%または 10%	80%または 20%	70%または 30%	60%または 40%	50%
1,629 票	±1.45	±1.93	±2.22	±2.37	±2.42
1,500 票	±1.51	±2.02	±2.31	±2.47	±2.52
1,000 票	±1.85	±2.47	±2.83	±3.03	±3.09
500 票	±2.63	±3.50	±4.01	±4.29	±4.38
300 票	±3.39	±4.52	±5.18	±5.54	±5.65
100 票	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

(この表の計算式の信頼度は 95% である。)

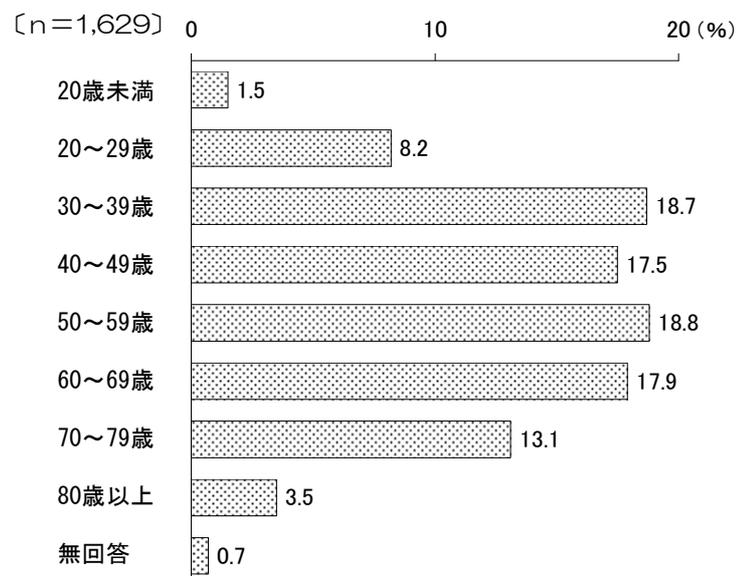
II. 回答者の属性

1 回答者の属性

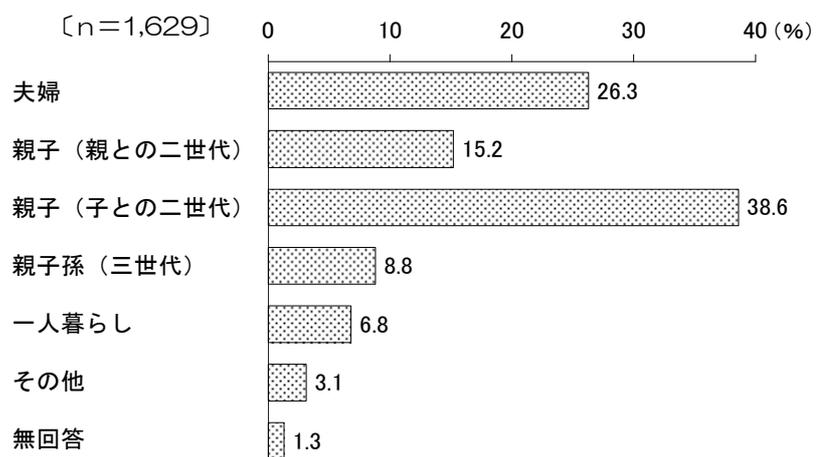
(1) 性別 (ア)



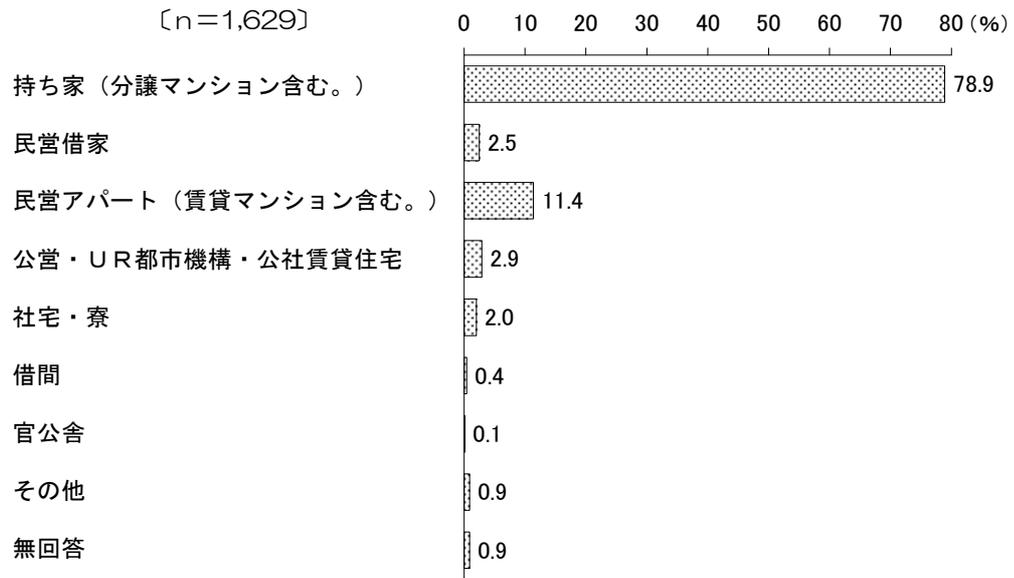
(2) 年齢 (イ)



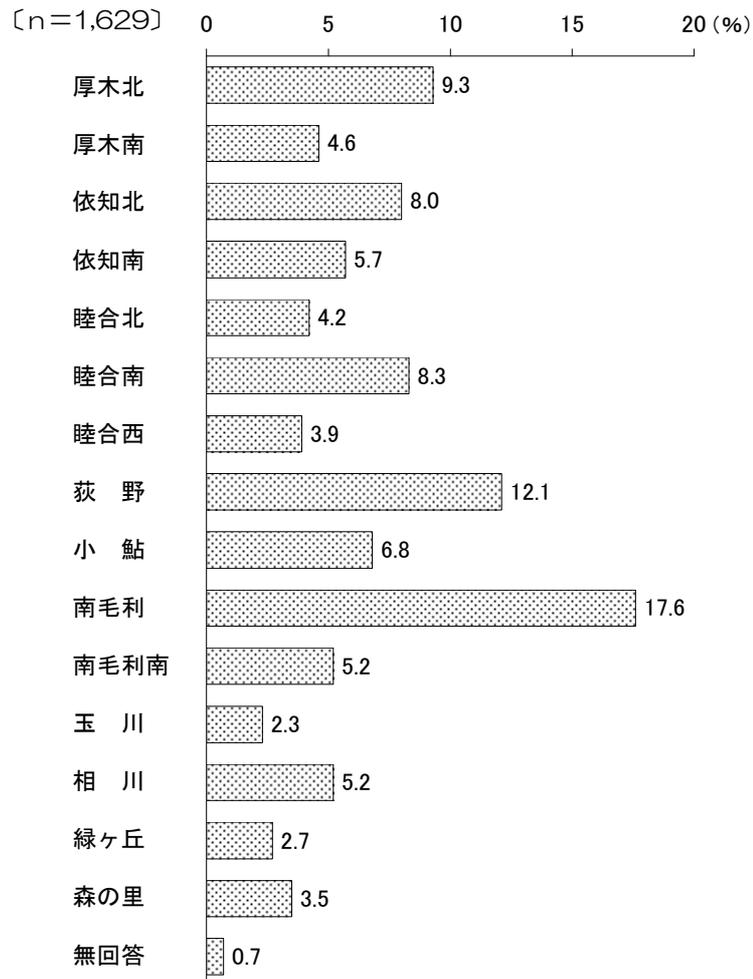
(3) 家族構成 (ウ)



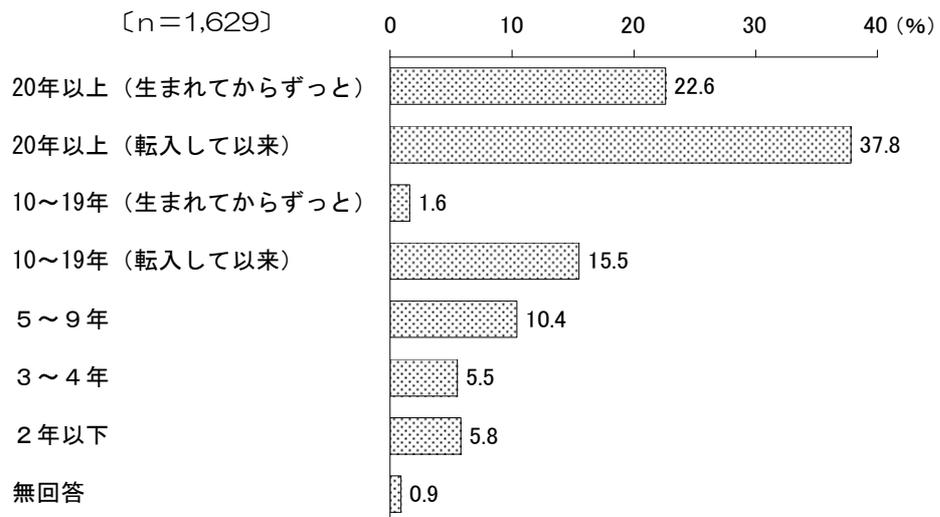
(4) 住居形態 (工)



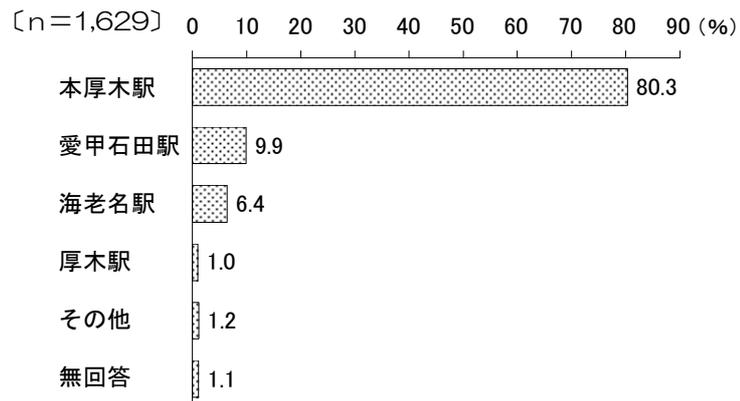
(5) 居住地区 (才)



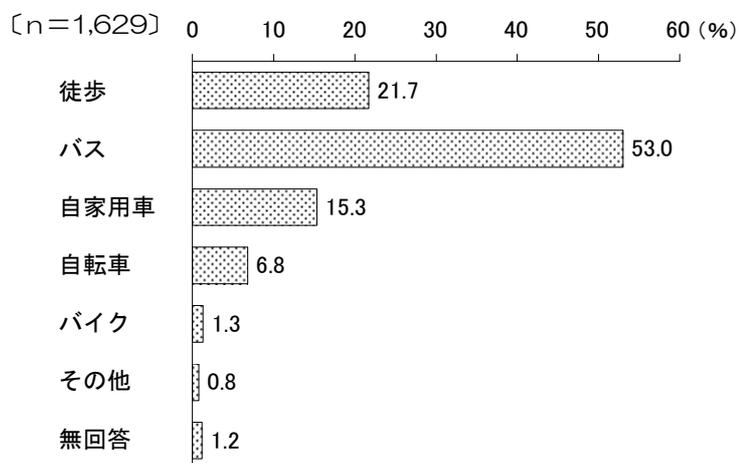
(6) 居住年数 (カ)



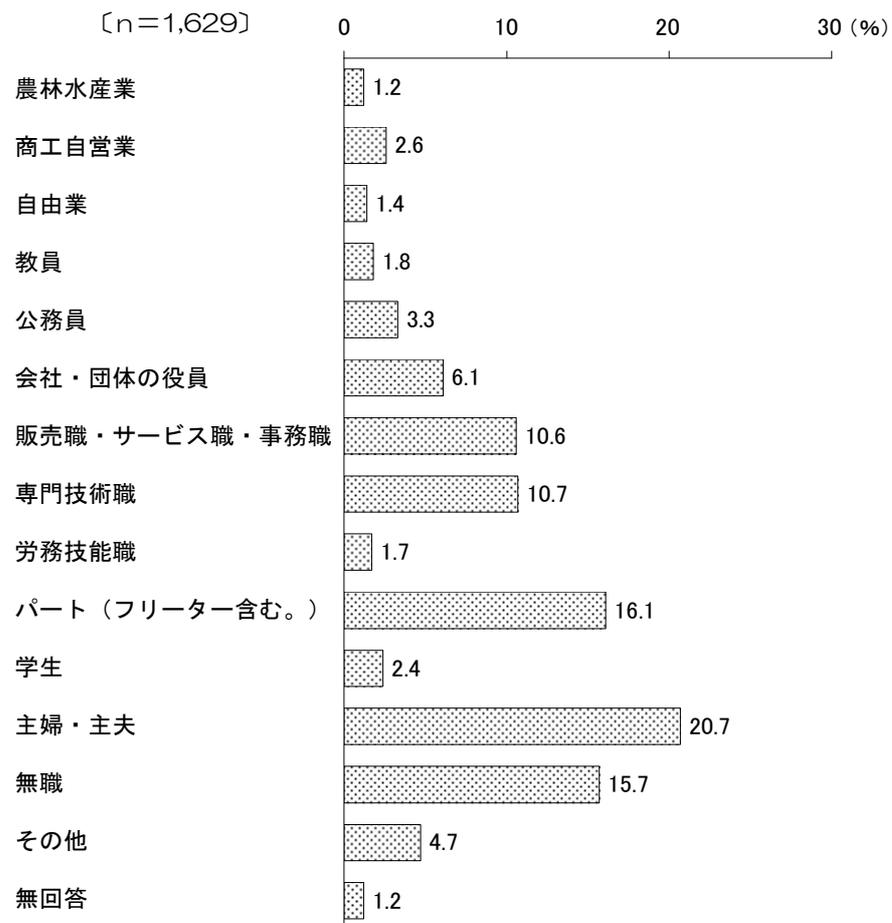
(7) 利用駅 (キ)



(8) 自宅から最寄駅までの交通手段 (ク)



(9) 職業 (ケ)



(10) 通勤 (通学) 先 (コ)

